

「クマ」についてのアンケート

<調査概要>

調査方法: インサーチモニターを対象としたインターネット調査
分析対象者: 札幌市内在住の15歳以上の男女
調査実施期間: 2011年10月13日(木)~10月14日(金)
有効回答者数: N=500

全体	500名	100%
男性	235名	47%
女性	265名	53%

実施機関: 株式会社インサイト

※それぞれの項目で、年代別/同居している子供の有無別について顕著な差がない場合記載を省略する。

<結果の要約>

・2011年10月初旬に発生した住宅地中心部でのクマ出没についての関心度は9割弱(86%)に上る。年代別では、年代が高くなるほど関心度が高くなる傾向が見られる。さらに、子供が同居している世帯は、同居していない世帯に比べ関心度が高い。

・今回の住宅地でのクマ出没について、全体の6割強(63%)が恐怖心を感じている。

・対処法について、全体の5%は「大至急駆除(射殺)すべき」と感じている。また、3割(32%)が「駆除(射殺)もやむを得ない」と感じている。一方、「可能な限り駆除(射殺)しないで捕獲すべき」と感じている割合も3割強(35%)、「殺さないで山へ帰すべき」と感じている割合は2割強(25%)となっている。

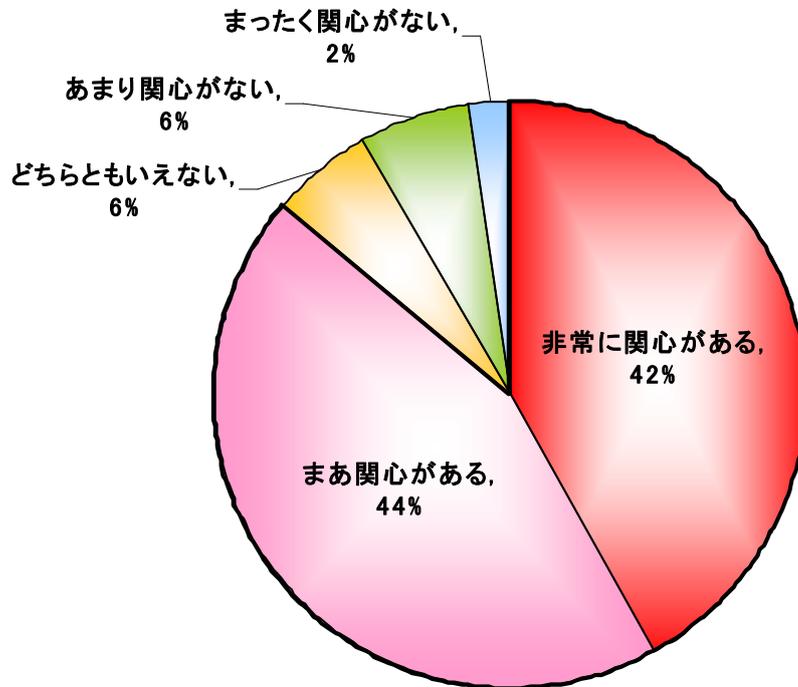
・住宅地に出発しないよう根本的な対策について、全体の6割(60%)は「積極的に取り組むべきだ」と感じており、「ある程度取り組むべきだ」回答者(31%)をあわせた9割(91%)が住宅地に出発しないよう根本的な対策に取り組むべきと感じている。

・全体の3割(30%)が共存の道を「真剣に考えるべきだ」と感じており、3割強(35%)が「できる範囲で考えるべきだ」と感じている。一方、「共存が望ましいが現実的には無理ではないか」と感じている割合は3割(30%)となっている。

【関心度】

2011年10月初旬に中央区、南区などの住宅地中心部でクマの出没があり、札幌市話題になっております。

Q:あなたはどれくらい今回の住宅地でのクマ出没に関心がありますか。



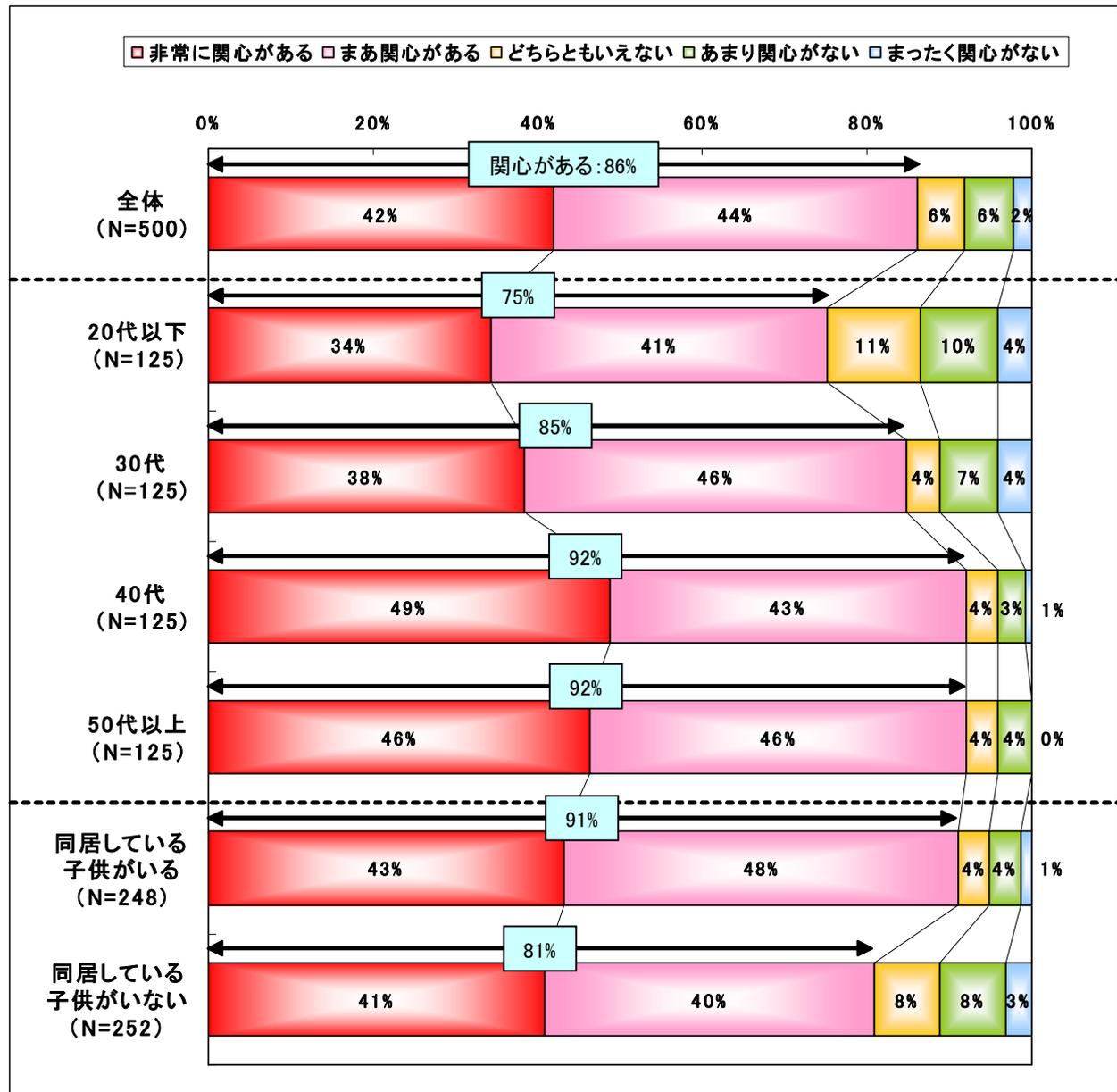
関心あり計:86%

※Base: 全体(N=500)

➤ 全体の9割弱(86%)が今回の住宅地でのクマ出没に関心がある(「非常に興味がある/まあ興味がある」回答者計)。

【関心度(属性別)】

Q:あなたはどれくらい今回の住宅地でのクマ出没に関心がありますか。

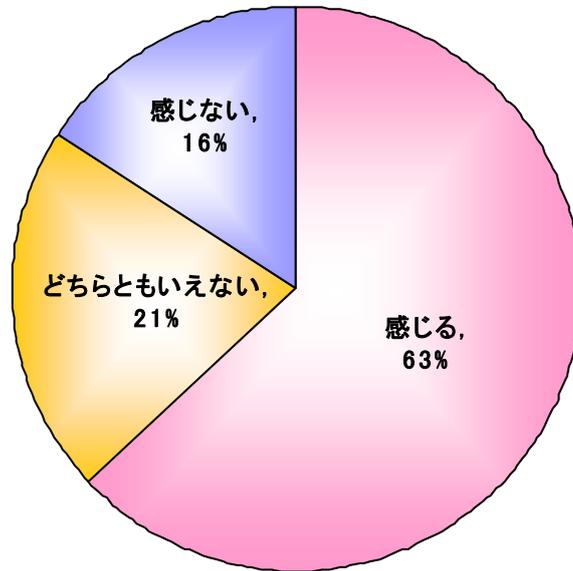


※Base: 全体

- 年代別では、年代が高くなるほど関心度が高くなる傾向が見られる。
- 子供が同居している世帯は、同居していない世帯に比べ関心度が高い。

【恐怖心】

Q: あなたはどれくらい今回の住宅地でのクマ出没について恐怖心を感じますか。

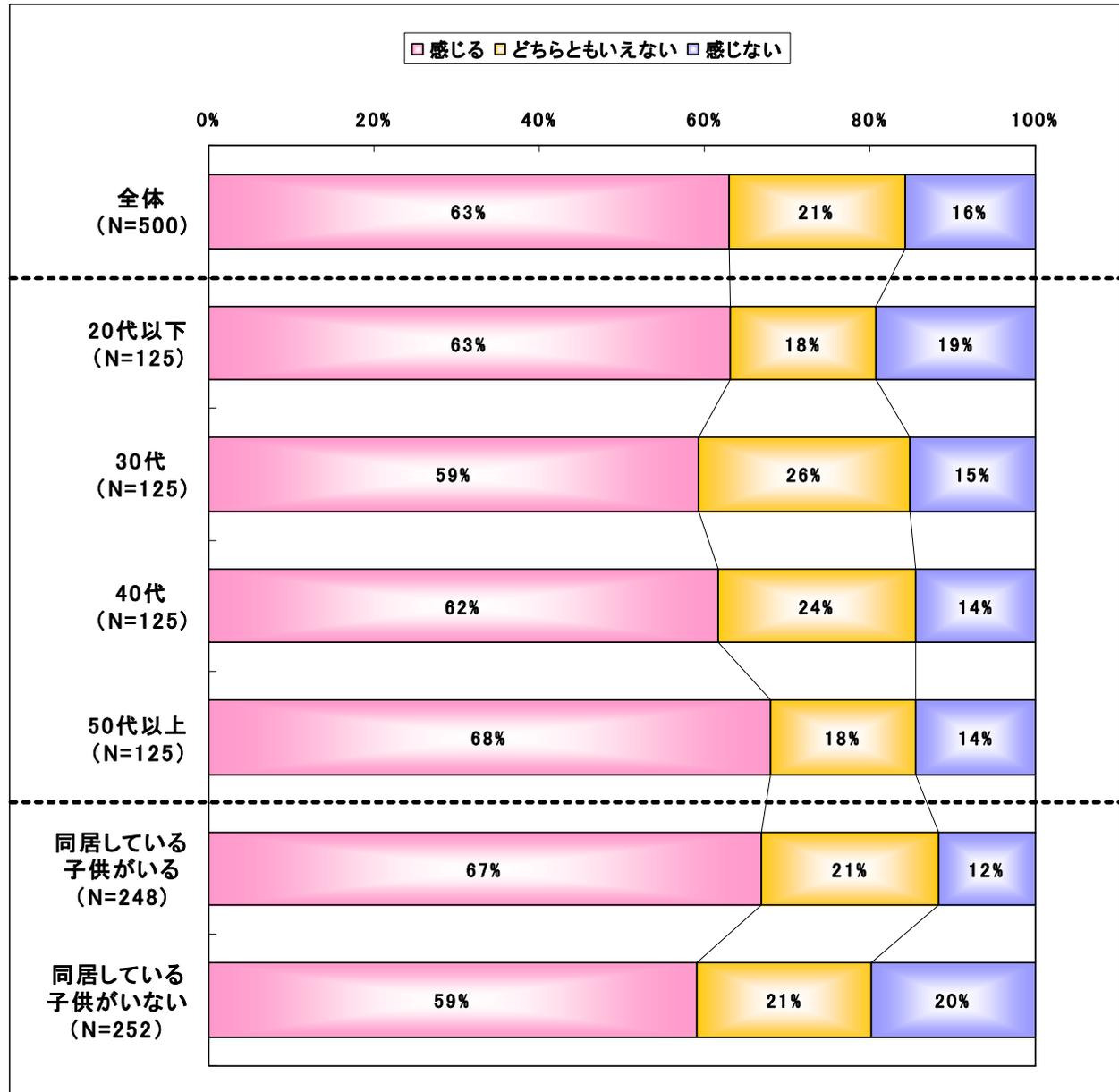


※Base: 全体 (N=500)

➤ 全体の6割強(63%)が恐怖心を感じている。

【恐怖心(属性別)】

Q: あなたはどれくらい今回の住宅地でのクマ出没について恐怖心を感じますか。

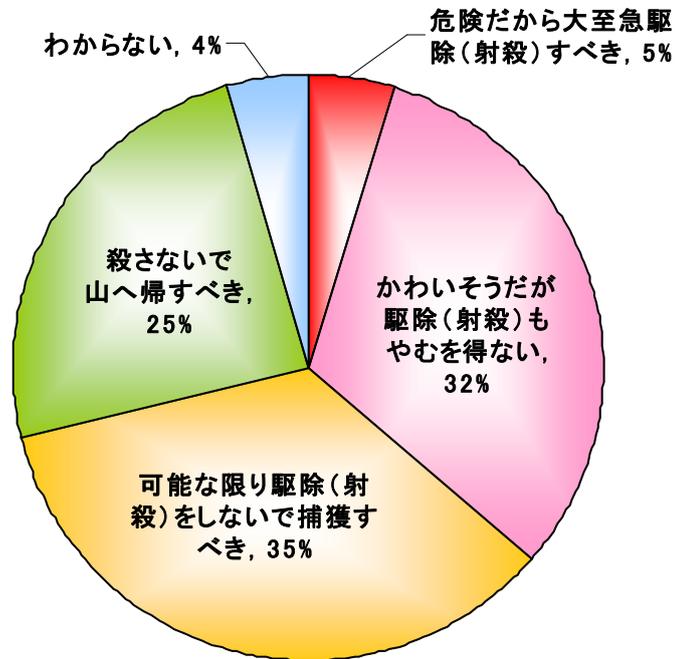


※Base: 全体

- 年代別では、傾向に顕著な差は見られない。
- 同居している子供の有無別では、統計的な有意差はないものの、子供が同居している世帯の方が恐怖心を感じている割合がやや高い。

【対処法】

Q: 住宅地に出没したクマへの対処法として、あなたのお気持ちに近いものをひとつだけお選びください。

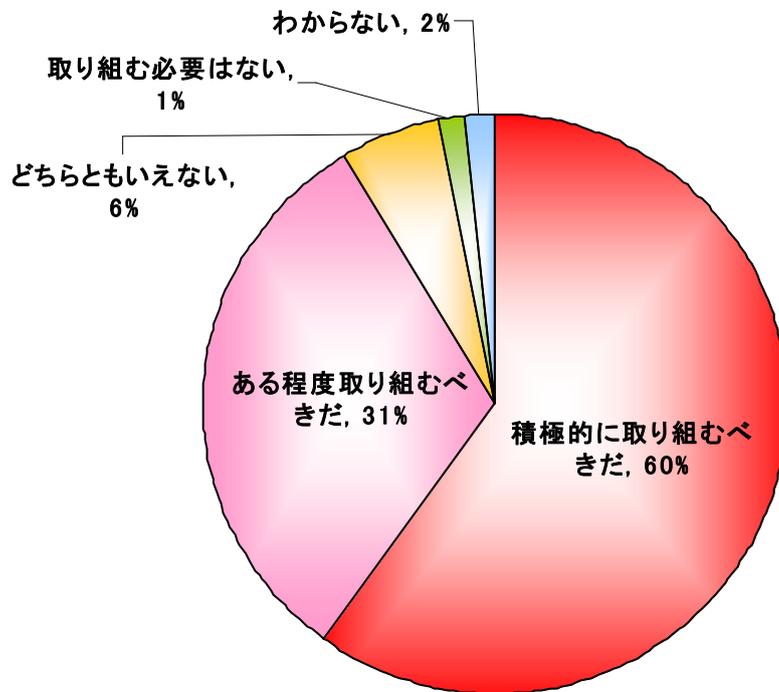


※Base: 全体(N=500)

➤「大至急駆除(射殺)すべき」は5%にとどまるものの3割(32%)は「駆除(射殺)もやむを得ない」と感じている。一方、「可能な限り駆除(射殺)をしないで捕獲すべき」と感じている割合は3割強(35%)、「殺さないで山へ帰すべき」と感じている割合は2割強(25%)となっている。

【住宅地に出発しないよう根本的な対策について】

Q: 住宅地に出発しないよう根本的な対策をすることについて、あなたのお気持ちに近いものをひとつだけお選びください。

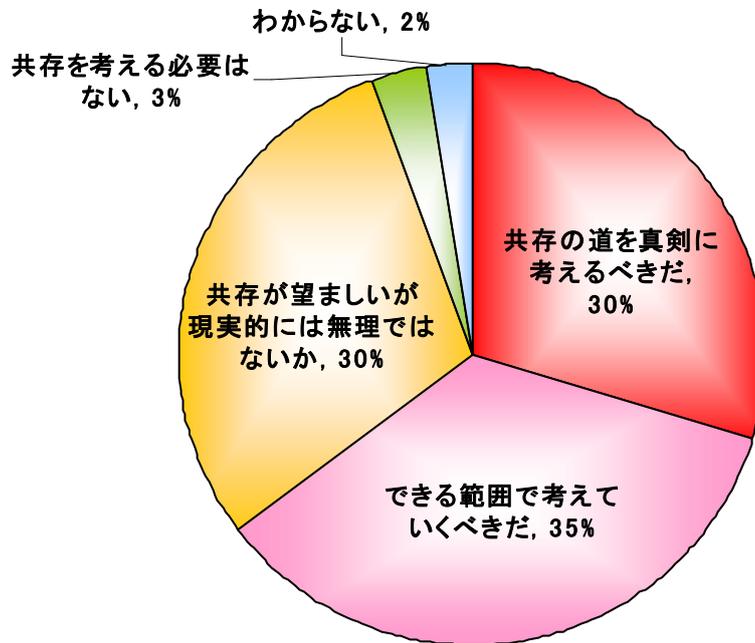


※Base: 全体 (N=500)

➤ 全体の6割(60%)は「積極的に取り組むべきだ」と感じており、3割(31%)は「ある程度取り組むべきだ」と感じている。あわせて9割(91%)が住宅地に出発しないよう根本的な対策に取り組むべきと感じている。

【クマとの共存について】

Q:あなたは、クマと札幌市民の共存についてどのように考えますか。



※Base: 全体 (N=500)

➤ 全体の3割(30%)が共存の道を「真剣に考えるべきだ」と感じており、3割強(35%)が「できる範囲で考えるべきだ」と感じている。一方、「共存が望ましいが現実的には無理ではないか」と感じている割合は3割(30%)となっている。

※本ページに掲載されている調査結果は、出典先を「マーケティングリサーチシステム インサーチ」と明記の上、自由にご利用ください。

＜その他のお問い合わせ先＞

株式会社 インサイト インサーチ事務局

e-mail : info@insearch.jp